

平成18年秋田県観光統計について

1 観光客数の推移

平成18年の本県における観光客数は、前半は豪雪の影響により落ち込みが顕著であったものの、その後のキャンペーン効果等もあり、最終的には45,952千人で前年比0.2%増となった。あきた21総合計画の平成18年目標値47,810千人に比べると1,800千人ほど少ない結果となったが、全国的に観光客が減少している地域が少ない中で、天候条件や経済情勢等による年次変動もあるものの、堅調に増加している。

2 自然公園等観光客数

自然公園等の観光客数は14,216千人（前年比98.4%、228千人減）で前年を下回った。豪雪や梅雨時期の長雨といった天候不順などが要因として考えられる。

3 行祭事観光客数

行祭事の観光客数は、11,964千人（前年比103.7%、427千人増）と前年を上回った。

角館の桜の見頃がゴールデンウィークに重なり桜まつりが好調だったほか、大曲の全国花火競技大会、角館のお祭り、おなごりフェスティバルなどが天候にも恵まれ大きく前年を上回った。また、ヤートセ秋田祭りや能代港まつり花火大会、男鹿日本海花火などはイベントとして定着し、知名度が上がってきたことで年々観光客数も増えてきている。

一方、横手のかまくら、大館のアメッコ市は祭り当日の天候不順により、前年を下回った。

4 施設観光客数

施設の観光客数は、19,772千人（前年比99.5%、109千人減）と前年を下回った。

大潟村の産直施設などイベントの開催等により観光客数が増加している施設もあったが、大型施設のリニューアルや新規オープンがなかったことにより、全体として減となっている。

5 県内・県外観光客数

県内・県外客別では、県内客が豪雪等の天候不順で出足が鈍り28,651千人（前年比99.3%、207千人減）と前年を下回った一方で、県外客は、豪雪等の影響はあったものの17,301千人（前年比101.7%、297千人増）と、前年を上回った。近年、県外客は毎年着実に増加してきており、首都圏を中心とした誘客活動やマスメディアを使ったPRが効果を上げてきていると考えられる。

6 宿泊・日帰り別観光客数

宿泊客は3,895千人（前年比97.8%、87千人減）、観光客に占める宿泊客の割合は8.5%（前年8.7%）となり、人数・宿泊率とも前年を下回った。

豪雪による影響に加えて、全国的な傾向であるが高速交通体系の整備による通過型の観光客が増加していることが要因として考えられる。

7 外国人宿泊客数

海外からの宿泊客数は、ここ数年着実に増加しており、平成18年は目標値の28,000人を大きく上回る33,418人となり、前年比でも約9,000人増となった。特に韓国、台湾からの誘客数が大幅に伸びており、ターゲットを絞った外国人誘客等の効果が出てきているものと考えられる。

【 参 考 】

（単位：千人、％）

年	観光客数	分 類 別			県内・県外別		宿泊・日帰り別		外国人	
		自然公園等	行祭事	施設	県内客	県外客	宿泊客	日帰り客	宿泊客	
平成18年	45,952	14,216	11,964	19,772	28,651	17,301	3,895	42,057	33	
構成比		30.9	26.0	43.0	62.3	37.7	8.5	91.5	-	
平成17年	45,862	14,444	11,537	19,881	28,858	17,004	3,982	41,880	24	
構成比		31.5	25.2	43.3	62.9	37.1	8.7	91.3	-	
対前年	増減数	90	228	427	109	207	297	87	177	9
	比率	100.2	98.4	103.7	99.5	99.3	101.7	97.8	100.4	139.9

（注）1 はマイナス。